

1

広報担当者の危機管理上の心得  
～虐待・ハラスメントの防止を踏まえて～

2014.10.4  
小島法律事務所 弁護士 小島幸保

1

---

---

---

---

---

---

---

---

2

本日のテーマ

- 青少年への虐待とハラスメントについての理解を深める
- 広報の役割と心構えについて考える

2

---

---

---

---

---

---

---

---

3

青少年への配慮の必要性

- 被害申告があるとは限らない
- さらにひどい結果を招くのではないかと恐れる
- 被害者側に責任があるかのように思い込まれる
- 成人するまで胸の内に納めたままのことも多い
- 過小に報告したり否定する傾向がある

3

---

---

---

---

---

---

---

---

4

児童虐待

- 心理的虐待（精神的虐待または言葉による虐待）
- 身体的虐待（肉体的虐待）
- ネグレクト（放置）
- 性的虐待

4

---

---

---

---

---

---

---

---

5

性的ハラスメント

- 性的な誘いかけ
- 性的行為の要求
- 性的な性質を持つ口頭または身体的言動

不快な感情を持たせる性的行為は不適切と評価せざるを得ない。

5

---

---

---

---

---

---

---

---

6

具体的場面

- 性的な言葉、冗談
- 個人の性生活に関する噂話
- 個人の性的活動、欠陥、能力に関する言及
- 性的な示唆を含む物、写真、絵などの提示
- 性的な示唆を含む目線
- 衣服に付いたゴミを払い落としたり、触るなどの不適切な身体的行動
- 卑猥な言語または身振り・手振り
- 性的示唆や侮辱を含む言葉

6

---

---

---

---

---

---

---

---

7

誤 解

「性的虐待は、性的指向に関係するものである」  
 「女子のみが危険にさらされている」  
 「男性のみが加害者である」  
 「女子は男性からのみ狙われており、男子は女性からのみ狙われている」  
 「性的虐待は常に明白である」  
 「虐待者の多くは被害者の知り合いではない」

7

---

---

---

---

---

---

---

---

8

虐待とハラスメントの兆候

- 説明に整合性のないケガ
- 人に対する恐怖心、過度の接触
- 摂食障害
- 自傷
- 規則に対する反抗
- 自己嫌悪、低評価
- 自己イメージの払拭
- 年齢にふさわしくない性知識

そのレッテルは  
本当に正しい?

8

---

---

---

---

---

---

---

---

9

危機時の広報

- 広報の本来の役割は、団体等の活動を広く知ってもらうこと
- 情報発信は媒体を通じるものには限らない
- 危機時の広報では、「ダメージ・コントロール」と「説明責任」が重視される
- 意図しない情報の流出への対処も必要

9

---

---

---

---

---

---

---

---

10

1. 事態の把握  
いつ、どこで、何が起きたのか、経緯、被害

2. 原因の調査

3. 責任の所在の確認

4. 対応策の検討

5. 処分に関する方針決定

6. 再発防止策の提示

10

---

---

---

---

---

---

---

---

11

説明責任  
Accountability

- 直接的関係をもつ人だけでなく、消費者、取引業者、地域住民など間接的な関わりをもつあらゆる存在に対して、活動や結果などの報告を求められる考え方

説明責任を果たさなければ、誰かが告発する

11

---

---

---

---

---

---

---

---

12

取材対応

- 表情
- その場で完結させるのか／次につなげるのか
- 言葉の使い方
- 内容を判断するのは記者
- 時間・紙面の制約
- 誘導質問  
不正確・未確認情報が引き出されるリスク

12

---

---

---

---

---

---

---

---

13

---

---

---

---

---

---

---

---

14

SNS対応

- ネット上では、「もっともっと」とエスカレートする。  
読む者が痛快な方向へ。
- クレームが娯楽に。  
日常生活では言いたくも言えないことが気軽に言えてしまう。
- 疑わしきを罰するのがネット。
- ケアレスミスが取り上げられる。
- ネット社会では常にアクセスしているのが当たり前
- 何もしないでいることのほうが信頼を失う。

14

---

---

---

---

---

---

---

---

15

- 私たち一人として感じる「不快さ」にも注目  
地方議員の政務調査費不正疑惑
- 内部文書の取り扱いにも注意  
被害者を「地雷原」と称した社内文書
- “他所の話” を自らに置き換えて考える

15

---

---

---

---

---

---

---

---